大エジプト博物館の未来をひらく

開館１周年を迎えて 日本とエジプトの 協力の歩みと 新たな挑戦

2026年12月1日（火）14:30~16:30

筑波大学未来社会デザイン棟
イベントホール（開場13:30~）

アフマド・ゴネイム館長による特別講演会

参加無料：要申し込み

同時通訳あり（日・英）

参加登録：11月29日（日）まで

https://forms.gle/vcrmAmCjBLdfYPk8A



アフマド・ゴネイム館長

主催 筑波大学 University of Tsukuba

JICA-GEM GEM GHUB PROJECT

共催 JICA ジャイカ 国際協力機構

協力 西アジア文明研究センター

筑波大学大学院 人間総合科学研究群
世界遺産学学位プログラム（博士前期・後期）





「大エジプト博物館（Grand Egyptian Museum（GEM））」。2025年11月のグランドオープンから1周年を迎えるこの機会に、エジプトからアフマド・ゴネイム館長をお招きし、特別講演会を開催します。エジプトが世界に誇る博物館はいかにして誕生したのか。その舞台裏には、約20年にわたる日本とエジプトの協力の歴史があります。本講演会では、ゴネイム館長がGEM開館までの歩みと成果を紹介するとともに、国際協力機構（JICA）や日本の学術機関による文化遺産の保存・修復、人材育成などの取り組みに光を当てます。さらに、GEMの関連事業に携わってきた専門家が、日本の対エジプト協力の軌跡と学術的成果を振り返り、現在実施中の技術協力プロジェクト「大エジプト博物館保存修復・科学研究国際拠点化プロジェクト（Grand Egyptian Museum Global Conservation and Scientific Research Hub Project（通称GHUB））」の最新の取り組みや今後の展望を紹介します。プログラムの最後には、ゴネイム館長やJICA専門家に直接質問できる貴重な機会も設けています。古代エジプト文明に関心のある方から、博物館や文化遺産の保存、国際協力に興味をお持ちの方まで、幅広い皆さまのご参加をお待ちしております。

プログラム

14:30~14:35　開会挨拶　永田恭介（筑波大学学長）

14:35~14:40　JICA挨拶　田中耕太郎（JICA中東・欧州部長）

14:40~15:25　特別講演　アフマド・ゴネイム（大エジプト博物館長）
"The Grand Egyptian Museum: One Year, One Landmark, A Shared Future
Celebrating the First Anniversary of GEM Opening, the Egypt-Japan Partnership,
and New Endeavors Ahead."

15:25~15:40　「大エジプト博物館の基盤づくりを支援する
― 保存修復センターにおける人材育成と能力強化の取り組み ―」
末森薫（国立民族学博物館准教授）（JICA専門家（コレクションケア（博物館学））
）

15:40~15:55　「GEM-GHUB事業学術成果：ツタンカーメン副葬品（木製品・染織品）の保存修復と新発見」
日本側が制作した映像上映2本（壁画・ツタンカーメン）・ツタンカーメン復元衣装公開
岡田靖（東京藝術大学教授）（JICA専門家（保存修復（木製品））
）

15:55~16:10　「GEM-GHUB事業の概要・進捗・展望」（GEM-GHUB Project）
谷口陽子（筑波大学人文社会系教授）（JICA専門家（総括／文化遺産保護／組織開発））

16:10~16:25　学生・参加者とのQ&A
司会：宮川創（筑波大学人文社会系准教授）（JICA専門家（情報発信戦略（機関誌・ウェブ））

16:25~16:30　閉会　大根田修（筑波大学副学長）

会場へのアクセス

会場までは公共交通機関をご利用ください



つくば駅から
>つくばセンターから筑波大学循環バスで約10分
>「平砂学生宿舎前」または「天久保2丁目」下車
>下車後、徒歩ですぐ

住所：筑波大学 未来社会デザイン棟
〒305-0005
茨城県つくば市天久保2-1

